

令和6年度(公財)日本スポーツ協会公認 水泳コーチ2
 専門科目講習会並びに検定試験 実施概要

1 目的

水泳指導に関する専門的な知識・技能・指導力およびその応用力を有し、基礎水泳指導員や水泳コーチ1を養成する事ができ、地域スポーツクラブやスポーツ教室等において公共団体またはその機関等が主催または主管する水泳指導の中心的役割を担う人材を養成する。

2 主催 (公財)日本スポーツ協会
 (公財)日本水泳連盟

3 主管 (公財)日本水泳連盟地域指導者委員会

4 期日 講習会 9月14日(土)、9月15日(日)、9月16日(月)
 10月19日(土)
 開始時刻9:00 終了時刻17:00
 検定試験 10月20日(日)
 開始時刻9:00 終了時刻15:00

5 会場 国立スポーツ科学センター・味の素ナショナルトレーニングセンター

6 参加資格 4月1日現在満25歳以上で、コーチ1(水泳指導員)資格取得後2年以上の経験を有する者

7 定員 40名(先着順)

8 講習内容 教科書は「水泳指導教本(三訂版)」を使用する
 課題学習については、レポートの提出(※)および自習とする

(1)学科

科目名	集合講習	課題学習	合計
水泳指導者・中・上級指導者	3	0	3
水泳の医学・栄養学	4	0	4
水泳の科学・トレーニング法	4	3	7
自然の水域における安全とプール管理	3	0	3
障害者水泳	1	0	1
合計	15	3	18

(2)演習

科目名	集合講習	課題学習	合計
チームビルディング	1	1(※)	2
合計	1	1	2

(3)実技

科目名	集合講習	課題学習	合計
ドライランド・トレーニング	2	2(※)	4
示範技術(4泳法、スタート・ターン)	5	3	8
障害者に対する指導	1	1(※)	2
指導実習	2	4(※)	6
合計	10	10	20

9 検定試験

(1) 学科試験(4科目) 2時間

水泳指導者・中・上級指導法	各科目ごとに 100 点で評価し、 全科目 60 点以上を合格とする。
水泳の医学・栄養学	
水泳の科学・トレーニング法	
自然の水域における安全とプール管理	

(2) 実技試験

種 目	内 容
バタフライ	各 50m
背泳ぎ	1 2 種目を選択すること。
平泳ぎ	2 制限タイム以内で泳ぐこと。
クロール	3 競泳競技規則に違反しないこと。

準備：水泳実技ができる準備（水着、水泳帽、ゴーグル、タオル等）

10 受講料・検定料等

22,000 円